



特別養護老人ホーム「ゆるり」

短期入所生活介護(ショートステイ)の紹介をします。



定員10名のユニット型のショートステイです。お部屋はプライバシーが守れるように全室個室で、ベッド、小さなチェストと洗面台が付いています。スタッフは6名、女性4名男性2名で利用者のお世話をしています。お風呂は檜風呂でお一人ごとに入浴をしています。個別浴槽での入浴が難しい方は、寝台浴槽に入っています。

1日の流れを紹介します。

まず午前中に入所していただきます。体調の確認として、体温、血圧等の測定を行います。お昼前は簡単な創作活動などもしていただいています。昼食後は、曜日によって、理学療法士による体操やリハビリテーションの提供、スタッフも参加のレクリエーションで皆さん元気回復！そして3時のおやつを食べながら、利用者同士井戸端会議で盛り上がっています。夕食は5時30分からで、栄養バランスのとれた食事を提供しています。その後はテレビを観たり、寝る準備をしたり、その方のリズムで過ごされています。

利用者の皆さんからは、スタッフがみんなとても優しいとの声をいただいています。

ご利用希望、空き状況については担当ケアマネジャーを通しお問い合わせ下さい。スタッフ一同お待ちしております。

フィエスタ翔 2016/10/29(土)

2016年10月29日(土)、TOTO茅ヶ崎工場でフィエスタ翔を開催しました。

昨年のテーマは「心で笑おう！体で楽しもう!!」テーマにそって美味しい模擬店と楽しいステージ発表があり賑わっていました。

模擬店では、うどん、フランクフルト、綿あめ、おでん、焼き鳥などがありどのテントでも美味しい匂いと楽しそうな声が飛び交っていました。



ステージでは、和太鼓やダンス、アフリカンミュージックの発表で会場が盛り上がりました。フィナーレではサンバ隊が登場しました。サンバ隊と一緒に利用者が元気よく踊る姿が見られました。

翔の会の利用者はもちろん、ご家族、地域の方々など、たくさんの方々に楽しんでいただけた一日になりました。

2016年度

らららライブ 2016/12/7(水)

2016年12月7日(水)に茅ヶ崎市民文化会館にて開催しました。

らららライブは音楽プログラムとして始まり、当初はコミュニティホールで行っていましたが、内輪だけでなく地域社会との繋がりや、社会参加のきっかけとして文化会館小ホールにて行うようになりました。



昨年も文化会館小ホールにて11団体が参加され、一つ一つの団体がそれぞれの個性を活かし、音楽を楽しみながら表現を行いました。障害に関係なく、子供から大人まで一人ひとりが音を出し、様々な表現をしました。大きなライブ会場でみんなが表現者となり、一丸となってみんなの音楽を楽しめました。

地域からの理解も頂け、約200名の来場者もありました。長年の翔の会の恒例行事になっているらららライブ。今後も茅ヶ崎市、寒川町の地域社会と一緒に盛り上げていければと思います。

第16回

動楽会

2016/10/14(金)

昨年度は2016年10月14日に「第16回 動楽会」が茅ヶ崎市総合体育館で開催されました。

13の事業所から総勢350人近くの利用者が参加し盛り上がった会となりました。



プログラムは 新競技の「玉なげ競争」「早着替え競争」「ひも鬼」「大玉ころがし」の4つと「徒競走」を行い、手に汗握る競争を繰り広げられました。

昼食時にはフラダンスサークルの皆さんによる踊りもあり、飛び入りで参加し楽しんでいた利用者もいて「つくしの家(就労継続支援B型事業)」の優勝で幕を閉じました。



当日の会場設営から競技のお手伝いをいただいたボランティアの方々のおかげで無事に終わる事ができ、楽しい会となりました。ありがとうございました。



茅ヶ崎 ユニバーサル音楽祭 2016

2016/11/5(土)

～NO BARRIER★音楽で輝く湘南～
誰もが街の表現者 奏でよう・踊ろう！
障がいがあってもなくても
茅ヶ崎に愛と夢と希望を

「音楽の力で、だれもが暮らしやすいユニバーサルな社会と、元気な茅ヶ崎を目指して行うストリートライブ形式の音楽祭」。この趣旨を掲げて始まった茅ヶ崎ユニバーサル音楽祭は今回で11回目を迎えました。

今回は「ペDESTリアンデッキ」「イオンスタイル湘南茅ヶ崎」「エメラルドプラザ」に加え、新たな会場として、南口の「唄うたいのいるお店『ぱぱっち』」の計4会場で開催しました。

参加者も増え40もの団体が参加、翔の会からはイオン会場に飛行船が参加しハンドベルの演奏を聞かせてくれました。

障がいの有無に関わらず、子どもから大人まで楽しみ、茅ヶ崎を地域の皆で盛り上げました。初冬の茅ヶ崎の恒例イベントとして、街が音楽やパフォーマンスで溢れる1日となりました。



Report セミナーレポート

人権研修

2016年度も10月～11月にかけて計4回、法人の全職員を対象にした人権研修が行われました。今回の研修は過去2年間のグループワークから見えてきた、困難事例や対応が難しい場面を講義内容に組み入れてもらいました。講師は法人の顧問弁護士でもある内嶋先生にお願いしました。700人以上の職員がいる中500人近い職員が参加しました。この研修では、過去の困難事例に対する解決策が明示された訳ではありません。それは、我々の支援は一概にマニュアルの暗記ではどうにもならない事が多いからです。特に対応が難しい場面ではなおさらの事です。ですから研修では、そうした対応が難しい場面で、どれだけ、相手の身になって考えられるかが、テーマとなりました。支援者側から見れば、「対応困難事例」となりますが、利用者側から見れば「分かってもらえないサイン」という事になります。我々が利用者支援にあたる時、利用者が何を訴えているのかを、どれだけ自分に置き換えて考えられるかがとても大切な事です。しかし、こうした姿勢で日々の業務に取り組む事は、簡単なようで大変な事です。それを継続する事は、さらに難しい事です。ですから、そうした姿勢を職場やチームでも共有し、いつもでなくても、壁に当たったら、「立ち止まる」「振り返る」「皆で考える」、その事が大変重要なのだと改めて考えさせられました。

利用者も我々職員も、いかにいろいろな人に頼りながら、自分らしく居られる事、それが大切なのだと思いました。



2016年度 翔の会地域セミナー

2016年11月19日(土)、茅ヶ崎さがみ農協ビルにて、2016年度翔の会地域セミナーを開催しました。今年は、「子どもの貧困を知っていますか？」～地域で私たちができること～と題して、名寄大学 山野良一教授をお招きし、子どもの貧困をテーマにご講演いただきました。

第1部、山野教授の講演は、日本の子どもの6人に1人が貧困状態という実態をデータや事例を用いてお話いただき、子どもの貧困が身近な事と感ぜられる内容でした。第2部では、地域お茶の間研究所 さろんとして代表 早川仁美氏と翔の会 萩園いこいの里 職員 宇都純子氏から市内で子どもの居場所作りの活動報告があり、自分たちも地域で何かできないかと感ぜられるセミナーになりました。当日は、104名というたくさんの方にお越しいただきました。ありがとうございました。





生活介護事業「いずみ」
Iさん

- Q いずみの中での楽しみはなんですか？**
付録とか自主製品（特に組み紐）、外出している時が楽しいです。スタッフみんなに絡まれている時間も好きです。
- Q いずみでのやりがいはなんですか？**
お客さんや買ってくれる人のことを考えて、銀のさらの箸セットや自主製品を作っている時に感じます。
- Q やってみたいことは何ですか？**
マイクロバスでの外出や外出する機会を増やしたい！とにかく楽しく過ごしたい！
- Q いずみへのメッセージ（要望）をお願いします。**
もっと楽しく過ごしたいので、外出を増やしてほしいです。スタッフと外出したいです。



就労継続支援B型事業「つくしの家」
Mさん

- Mさんは、つくしの家に約30年、お仕事に来ています。毎朝元気よく「お早う！」と挨拶をされるMさんにインタビューをしました。
- Q つくしの家のお仕事で好きなものは何ですか。**
「アルミ！」
一番好きなお仕事はアルミ剥がしだそうです。
- Q 休憩時間は、何をしていますか。**
「時計」「クラウン！」

休憩時間は、他の利用者さんや職員と大好きな「時計」を作ります。車が大好きでクラウンの話しをされます。1日のお仕事を終わると、つくしの家の送迎を利用し帰宅します。帰宅途中に、大好きな「クラウン」が通らないか道路を確認しながら帰るのが楽しみだそうです。

Uさんは、水平線(入所支援施設)から鬼瓦に週2回通っています。そんなUさんにインタビューをさせていただきました。

- Q 鬼瓦に通所されていて、楽しみにしていることはなんですか？**
「アルミを剥がし！あれを作るの。」指さした先には、剥がしたアルミをくっつけてどんどん大きくなったアルミのオブジェが。そのアルミで「電話」を作っているとのこと。まだまだ大きくするそうです。
- 「お手紙を交換すること。」
鬼瓦に到着すると、「おはよう！」と元気に挨拶し、スタッフやメンバーさんとお手紙を交換します。みんなUさんから届く手紙をとっても楽しみにしています。



生活介護事業
「湘南鬼瓦」
Uさん

- Q 鬼瓦でのお仕事でやりがいを感じていることはありますか？**
「お花をアレンジして鬼瓦に納品すること。」毎週月曜日はフラワーアレンジメントの日。「うーん、どうしよっかな？」とお花とじっとにらめっこしながら真剣に悩んでいます。
- Q 鬼瓦でやってみたいことはありますか？**
「もっとお出かけしたい。」



共同生活介護事業
グループホーム「つぐみ」
Mさん

- Mさんにつぐみでの生活についてお聞きしました。
- Q 楽しいと思う事は何ですか。**
夕食を取りにリビングに行く時に職員と話せることです。
- Q 今、やりたい事はありますか。**
一人暮らしの準備と結婚。
ホームにいる間に相手を見つけて結婚の準備をしたいです。
- 他のグループホームの人たちと交流会をしたいです。他のホームの人たちについてほとんど知らないのです。
- Q ホームならではのこを教えてください。**
ボランティアをすることが好きなのですが、翔の会のイベント情報が直接入るので参加しやすいです。

ぶらっとでのやりがい

インスリノーマという100万人に1人の病気になってしまい。「いつまで、生きられるのかな？1年生きれるのかな？長生き出来ないかも…」と家にいるとその事ばかりを考え、気持ちも落ち込む事があった。筋力向上の為、ぶらっと東海岸を紹介され、みんなと楽しく体操し笑うようになり、笑顔が戻ってきた。初めて経験する事もあり毎週楽しみです。

喋って笑い合う体操が楽しい

自宅では1人でいると笑う事や動くことがない為、ぶらっと東海岸では楽しみながら体操が出来る！ぶらっとに通うようになり生まれて初めて笑い疲れました。

やりたい事

やりたい事は、十分普段の活動でやっています。例えば、ぶらっとのお庭で育てたお米作りやお米の藁で作った、お正月飾り作り、初めての経験でした。自分で作ったお正月飾り、お嫁さんに「本当にこれ作ったの？」と褒めてもらい作り方をお嫁さんに教えてあげました。

施設のの人にやってほしい事

外出がしたいです。日中一人で過ごしているので、みんなと箱根や江の島 叶わないとしても茅ヶ崎海岸をドライブしていい景色をみながら、ワイワイご飯を食べたいです。



通所介護事業
「ぶらっと東海岸」
Kさん

- Q ケアセンターのどんなところが好きですか？**
到着した時に笑顔で出迎えてくれる、みんなで楽しく過ごせる場所
- Q ケアセンターでどんなことがしたいですか？**
たくさんの人とお話をしたり、私の踊りをみんなに楽しんでほしい
- Q ケアセンターにして欲しいことはありますか？**
出してくれるお茶をたまにはいつもとちょっと違ったものを飲んでみたいかな
- Q 最後に元気の秘訣を**
自分の好きなことを楽しんでやること！



通所介護事業
「菘園ケアセンター」
Mさん

後援会より



翔の会后援会とは?

『誰もが地域で暮らせるために』の理念のもと、幅広い事業展開をしている「社会福祉法人 翔の会」の活動を支援するために生まれました。後援会では、この主旨に賛同頂ける多くの方々を集い、イベントやバザーに参加して収益活動をしています。施設でのボランティア活動の活性化にも努めています。

会員になるには?

入会申込書に記入して会費の納入をお願いします。「空と海」(茅ヶ崎市芹沢 786)の后援会事務担当者に直接渡していただくか、郵便口座(00220-2-75228)へ払い込み下さい。

個人会員(年額)	1口	3,000円	1口以上
法人会員(年額)	1口	30,000円	1口以上
利用者本人会員(年額)	1口	5,000円	1口以上
利用者家族会員(年額)	1口	5,000円	1口以上

詳しくは 后援会事務局 「空と海」 海野まで
TEL: 0467-54-5424 FAX: 0467-54-5498

催し物のお知らせ

春の市民まつりに出店します

今年も下記の日程で春の市民まつりに出店します。

開催日 2017年4月23日(日)
時間 10時~16時
場所 茅ヶ崎中央公園

今年も中央公園で古着や雑貨の販売を行います。たくさんの方のご来場をお待ちしています。ぜひ足をお運び下さい。テント番号は9と15です。

翔の会后援会チャリティー映画会の中止について

チャリティー映画会につきましては、毎年たくさんの方々にご来場、チケットの宣伝・普及にご協力いただいております。ありがとうございます。

今年も楽しみにされている方には大変残念なお知らせとなりますが、いつも会場として使用している茅ヶ崎市民文化会館が、2017年3月から耐震補強および改修工事に入ったため、2017年度翔の会后援会チャリティー映画会は中止とさせていただくことになりました。何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

次回のチャリティー映画会につきましては、決まり次第お知らせいたします。

編集後記

つい先日、年が明けたと思ったらもう4月ですね。東日本大震災から6年が過ぎ、熊本地震から1年が経とうとしています。まだまだ復興とまではいかないかもしれませんが、震災にあわれた方々が少しでも不自由なく暮らせるよう、ここ茅ヶ崎から祈っております。私事ですが、生まれは福井県、育ちは静岡県です。静岡県は50年程前から、東海地震が噂されています。今までのことを踏まえ、地震への心構えと物資の備えを地道にしていこうと思っています。

ところで、茅ヶ崎市今宿に「ちがさき A・UN」が開所して、既に5年が経とうとしています。開所時に新人職員だった私達も既に中堅職員となり、出来ることや責任が増える毎日です。ユニットという1つの町で少人数ケアを行っており、入居者と職員の間関係を深く築くことが出来る為、互いが互いを支え合い、励まし合い生活しています。1階にはカフェもありますので、近くにお越しの際は是非遊びにいらして下さい。(N.F)

発行責任者/社会福祉法人「翔の会」 理事長・河内智恵子

〒253-0008 神奈川県茅ヶ崎市芹沢 786 番地

【TEL】0467-54-5424 (代) 【FAX】0467-54-5498 【URL】<http://www.syonokai.jp>